

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会 全体協議会を開催

～千曲川・犀川流域における流域治水について、市町村長等と意見交換～



- 気候変動による水害リスクの増大に備え、流域全体のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」について取り組んでいるところ。
- 信濃川流域における流域治水の更なる推進、またその全体像を共有・検討する場として、流域内の市町村長等が参加し、議論する『信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会 全体協議会』を開催。

■日 時=2月9日(水) 13:00~15:00

■開催方法=WEB会議での開催

■事務局=国土交通省 千曲川河川事務所・長野県 河川課

■参加数=75機関109名(うち41市町村68名)

<次第>

1. 開会

挨拶:長野県知事 阿部守一

2. 議事

- ①信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会規約改正(案)について
- ②信濃川水系河川整備計画(変更原案)治水について(報告)
- ③流域治水の取り組みについて
- ④流域治水に関する意見交換

3. その他

- ⑤信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について(報告)
- ⑥信濃川水系(上流部)ダム洪水調節機能協議会について(報告)
- ⑦信濃川水系流域治水プロジェクト×グリーンインフラについて(報告)

4. 閉会

<構成機関>

長野市、松本市、上田市、須坂市、小諸市、中野市、大町市、飯山市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町、長和町、青木村、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、飯綱町、小川村、栄村、
長野地方気象台、関東農政局農村振興部、中部森林管理局北信森林管理署、中部森林管理局中信森林管理署、中部森林管理局東信森林管理署、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター長野水源林整備事務所、国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所、国土交通省北陸地方整備局(大町ダム管理所、湯沢砂防事務所、松本砂防事務所、千曲川河川事務所)、長野県(環境部生活排水課、農政部農地整備課、林務部森林づくり推進課、建設部河川課、建設部砂防課、建設部都市・まちづくり課、建設部建築住宅課、佐久建設事務所、上田建設事務所、松本建設事務所、安曇野建設事務所、大町建設事務所、千曲建設事務所、須坂建設事務所、長野建設事務所、北信建設事務所)

<オブザーバー>

信州大学工学部水環境・土木工学科 吉谷純一教授、豊田政史准教授、NHK長野放送局、信越放送㈱、㈱長野放送、㈱テレビ信州、長野朝日放送㈱



長野県 阿部知事による挨拶



開催状況①

長野県知事挨拶

○国・県ともに、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に基づき、再度災害防止対策に鋭意取り組んでいるところ。早期の効果発現に向け、引き続き事業を進めていく。

○「流域治水」は、近年の気候変動を踏まえ河川管理者を主体とした治水だけではなく、流域に暮らす関係者が協働して治水を進めるという、治水のあり方そのものを転換するもの。

○県、市町村の取組状況の共有や、目標設定の必要性等について議論する本会議での議論が、実用性のある流域治水に結び付くよう、関係市町村長の皆様や関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。



開催状況②



信州大学工学部 吉谷教授



信州大学工学部 豊田准教授

学識者からの意見

○内水氾濫を防ぐような、個々の計画を作成・検討した上で、千曲川本川への効果を検討していくのも手段の1つではないか。

現在の主な取組内容

- ため池の低水位管理
- ダムの事前放流
- 田んぼダムの活用
- 雨水貯留浸透施設の設置・財政支援(雨水貯留タンク・小中学校の校庭の活用・浸透性の高い舗装等)
- マイタイムラインの作成・支援
- 民間施設を活用した避難場所の確保

全体協議会での主な意見

- 各市町村毎での貯留量等について、数値的な目標を設定する必要がある。
- 流域治水の目標の設定にあたっては、課題の整理や定量的な効果量の検証を行った上で、各地域毎の特性を踏まえて決定していく必要がある。
- 河道掘削を行うために、土砂の受入先等を市町村としても検討していく必要がある。
- 流域治水の取組・必要性について地域住民に浸透するよう丁寧な説明が必要である。洪水に対しての予測精度を高めていくことも、流域全体への意識向上に繋がるのではないか。また、上流・下流での地域住民間の交流を行うことで、流域全体での防災意識向上に繋がるのではないか。
- 千曲川上流域での流域治水の可能性について、調査して欲しい。